

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	相模原公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会・株式会社サカタのタネグループ
指定期間	H21. 4. 1 ～ H27. 3. 31
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所津久井治水センター）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

A

<判定理由>

1年を通して、植物全般の管理を管理水準以上に行っており、アンケートからも利用者が快適にすごせる空間を提供していたことが確認できた。また、イベント等においても、それぞれにコンセプトを明確にし実施しており、地域や地元団体との協働については定着し、確実に実施していた。
また、これまで以上に、環境や自然について、利用者や未来を担う子供たちに向けたメッセージ性を持ったイベントを実施し花と緑についての普及啓発ができていた。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月9日	11月16日	○	○	○	無	
11月	12月10日	12月20日	○	○	○	無	
12月	1月10日	1月21日	○	○	○	無	
1月	2月8日	2月19日	○	○	○	無	
2月	3月7日	3月18日	○	○	○	無	
3月	4月10日	4月17日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	「花と緑と文化が薫る魅力的な公園づくり」として、一年中魅力的な花が楽しめるよう、花の景観づくりを実施する。	公園維持管理基準に固執することなく、常に芝生をはじめとする植物全般に対してそれぞれの状態を見ながら、芝刈りや刈払い作業を実施した結果、安全面、快適面から維持管理基準を上回る快適で景観よい状況を提供できた。 また、冬期の芝生地を利用して独自の工法を使ったフラワーオーバーシードによるネモフィラの花畑は開花面積を広げた。また、環境浄化植物であるサンパチェンスを使った花壇は相模原公園らしさを演出していた。 冬期の花の少ない時期には、公園内で温度調節をした「冬ボタン」を設え、話題を呼んでいた。

	提案内容	実施状況
2	「公園の魅力や資源の発掘、利活用プログラムへの展開、情報発信（案内）、地域や県民との協働による実施（運営）、次回へのフィードバック」という利用促進への取り組み成果を踏まえ、更に低利用施設や季節により利用変動の大きいエリアを有効に活用し、県民が快適に過ごせる憩いの場を提供する。	春に続き、オータムフラワーフェスティバルをはじめ、新春フェアのほか、サカタのタネグリーンハウスで実施される企画展や特別展は、地域の団体や県民との協働により、様々な事業を展開していた。 グリーンハウスの中では、閑散期においても、特別展を開催し、利用促進を図っていた。 また、館内にくつろぎ易い雰囲気づくりを行いソファでくつろぐ姿が多々見られた。 特に、相模の大風保存会や地元のお囃子保存会、そのほか市内各団体や連盟によるそれぞれの伝統文化、芸能を公園のイベント等で披露してもらうことは、その伝統を後世へ伝承する場として活用されていた。
3	「利用者への対応」について、来園者のみならず、これから訪れる利用者にも満足していただくため、公園に対する疑問や質問に応え、快適で楽しい利用を提案・サポートできる「パーク・コンシェルジュ」を目指す。	朝礼では挨拶唱和を励行し、公園職員全員が、接遇研修を受け、利用者へのサービス向上に努めていた。 またスタッフそれぞれが、自覚を持ち、接客対応ができた。 苦情等についても、適切な対応をしており、特筆すべきトラブルはなかった。
4	より多くの方に公園の魅力を楽しんで頂き、地域に愛され、地域振興に貢献する公園とするために、一層地域の方々や協力団体との信頼関係を高め、「地域や県民と共に育む公園」、「地域に貢献できる公園」づくりに取り組む。 また、特色ある他公園との交流を実施し、情報交換にとどまらず、特色ある文化や自然を融合した新たな魅力の創造を目指す。	イベントやコンサートまた各種植物展示、花壇づくり等について、周辺地域の団体との協働による実施も定着しており充実した事業が展開できていた。また、活動内容等によっては場所の提供を行い、結果的に利用者へのサービスへつながっていた。 麻溝公園をはじめとした近隣施設とは、「麻溝地区近隣施設協議会」を設け、定例会議を実施して情報共有を図るほか、各施設を巡るスタンプラリーを年間5回実施し、好評であった。 特色ある公園間の交流として、「海と山と丘の公園交流事業」を当公園と日本丸メモリアルパーク・国営アルプスあづみ野公園間で実施継続。公園が主催するサンパチェンスフォトコンテストに各公園の写真も含めてコンテストとし、それぞれの特色を持った写真でコンテストが行われた。
5	「花と緑と文化が薫る新たなパークライフの創出」の一環として、都市緑化植物園の機能を強化し、公園内をはじめとした緑に関する様々な情報の発信を行う。	都市緑化植物園として緑の相談所の設置だけでなく、「ナビステーション」公園内の案内機能のほか自然や環境についても考える場所として効果を発揮することができた。 また、地域のNPO法人みどりのお医者さんを招き、より専門的に樹木をはじめとする植物の間合せに答えられる体制を整えた。 年間を通して園内の植物展示やモバイルなどで園内の樹木を特徴をとらえて展示し、利用者に対して自然や植物の楽しさをアピールしており、集客に対しても効果があった。

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		230,385	5,422	9,220	245,027	246,179	▲ 1,152
予算額	前年度	221,000	5,700	9,700	236,400	236,400	0
	上半期	116,297	3,220	4,900	124,417	124,417	0
	下半期	104,703	2,480	4,800	111,983	111,983	0
	今年度	221,377	5,800	9,800	236,977	236,977	0 ①
	上半期	114,386	3,320	4,900	122,606	122,606	0
	下半期	106,991	2,480	4,900	114,371	114,371	0
下半期実績額	10月	17,512	264	1,043	18,819	17,830	989
	11月	16,896	246	818	17,960	17,488	472
	12月	23,563	138	365	24,066	23,760	306
	1月	15,662	174	605	16,441	16,363	78
	2月	13,371	264	732	14,367	14,408	▲ 41
	3月	19,987	334	963	21,284	23,342	▲ 2,058
	今年度 下半期合計	106,991	1,420	4,526	112,937	113,191	▲ 254 ②
	前年度 下半期合計	104,703	1,323	3,961	109,987	111,954	▲ 1,967
	対前年度下半期比			③	2.7%	1.1%	
参考	今年度 上半期合計	114,386	1,788	4,109	120,283	117,800	2,483
	今年度 合計	221,377	3,208	8,635	233,220	230,991	2,229

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：300千円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	2,993	駐車場区画線改修 378,000円・GHガラス張 1,240,050円・ゴムマット設置 997,500円・作業小屋屋根張替 378,000円
下半期	2,918	井戸ポンプ修繕 995,820円・森の木展望台ローラー滑り台撤去 572,250円・園路灯設置 856,800円・避雷器設置 493,500円
合計	5,911	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	98,568 人	90,441 人	9.0 %
11月	55,683 人	61,931 人	▲ 10.1 %
12月	36,662 人	37,889 人	▲ 3.2 %
1月	52,264 人	43,732 人	19.5 %
2月	45,765 人	38,804 人	17.9 %
3月	60,363 人	50,321 人	20.0 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	298,000 人	395,618 人	375,010 人	32.8 %	5.5 %
今年度下半期計	320,000 人	349,305 人	323,118 人	9.2 %	8.2 %
今年度合計	618,000 人	744,923 人	698,128 人	20.6 %	6.8 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	3	7	0	0	6	16
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	2	5	0	0	4	11
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	昨日までキレイに咲いていたコスモスが今日、突然すべて切られていて大変驚き残念です。まだまだ楽しめたと思われませんが、なぜ切ったのか理由が知りたいですね。	来春の花の開花を鑑み、ナノハナの種まきの直前まで、お客様にコスモスを楽しんでいただきました。来春のナノハナも是非お楽しみ下さい。
職員対応		
事業内容		
その他	犬のリードが長すぎたり リードをはなしたりしている。事故があつてからでは遅い。 ガードマンはゴミ拾いより飼い主に注意をするべき。	電話終了後即座に芝生広場に向かい、ノーリードまたはロングリードの来園者に注意喚起を行った。
	ハスキー犬4頭をノーリードで遊ばせているので、怖くて散歩出来ない。公園職員や警備員が巡回している時は、リードをつけているが、いなくなるとノーリードにしている。 スタッフの方々も大変だとは思いますが、注意してもらいたい。	即座に園内放送にて注意喚起し、同時に警備員が現場へ直行し状況確認を行った。

8 事故や不祥事等の発生状況

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
12月12日	正月用の門松用のモウソウチクの切り出しをしようとしたところ、作業範囲内にあった折れた竹が邪魔していたため、その竹を取り除こうとノコギリで切っていたところ、急に竹が倒れたため竹を抑えていた左手の親指を他の竹に強打した。	念の為、病院を受診したところ、異常はなく、打撲と診断経過観察とした。	作業中の事故ということを踏まえ、作業の安全について朝礼等で再確認した。

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

今期の年間を通じた公園利用者数は昨年度の106%となり、様々な公園の取り組みの効果があつたと言える。

グリーンハウスでの取り組みについても、比較的高い年齢層向けのイベントが多かったが、様々な展示や企画などを展開し、幅広い年齢の利用者にも楽しめる工夫が見られ、利用者からも好感触であった。

植物管理、清掃管理においても管理基準以上の管理をしており満足度調査などからも管理の良さがうかがえた。

問題点としては、犬の放し飼いの苦情が多くスタッフや警備員が繰り返し注意はしているものの効果的な改善に至っておらず苦慮するところではあるが、引き続き根気強く注意喚起していただきたい。

また、運営方針のもと、今後も適正な管理に努め公園利用者の立場に立って、より快適で安全な公園運営を続けていただきたい。